

福島県

1. 商品名等

商品名	福商豆カレー	
商品写真(イメージ等)	商品説明(コンセプト等)	
	<p>本校OBの作曲家古関裕而先生を主人公にした連続テレビ小説「エール」が令和2年春から放送が決定し、東京オリンピックもあり、エールを応援に置き換えて、豆を英語で「SOY」というので、応援風に「SOY! SOY! 福商豆カレー」を作りました。福島の豆や雑穀の健康食材を使い、美味しいヘルシーな、珍しい豆カレーを発売しました。「ごはんのカレー氏くん」というキャラクターも作りました。福島のおいしい食材を使い完成させた自信作です。令和元年9月より県内外で販売。</p>	

2. 学校紹介

学校名	福島県立福島商業高等学校	電話	024-533-3451
住所	福島県福島市丸子字辰ノ尾1番地	FAX	024-554-1589
担当者	鈴木政直	小川千香子	
URL	http://www.fukushima-ch.fks.ed.jp		
E-mail	school@fukushima-ch.fks.ed.jp		
<p>本校では、校訓である「信義全力」「不撓不屈」の精神のもと、2万7千名を超える卒業生を世に送り出し、地元経済界はもとより、全国各地で活躍する多くの有益な人材を育成してきました。</p> <p>現在も商業に関する高い知識と技術を身に付け、豊かな心とたくましい力を持って激動する経済社会に貢献できる人材の育成に努める教育方針のもと、「情報ビジネス科」「経営ビジネス科」「会計ビジネス科」の3学科の特色を生かし、生徒一人一人を大切にしている教育を基本姿勢としている。商品開発については、流通・サービス等のビジネスに関する知識・技術習得に取り組んでいる経営ビジネス科の生徒を中心に「課題研究(調査研究)」、「商品開発(経営ビジネス科3年選択)」の授業を通し、高校生の柔軟な発想で出たアイデアを活用して地域活性化に役立つ活動を行っている。</p>			

3. 実施科目等

科目名	課題研究(調査研究)	単位数	3単位
対象生徒	3年生(10名)	担当教員数	2名

4. 予算関係(費用)

「チャレンジ! 子どもがふみだす体験活動応援事業」補助による。

内容:仕入(1ロット2,500個)@¥550補助

原価販売による売上は、生徒の県外での旅費・交通費等に利用。

5. 開発経緯等

「課題研究（調査研究）3単位」を選択の10名では、初めに、どのような商品を作りたいのか考えました。

本校OBの作曲家古関裕而先生を主人公にした連続テレビ小説「エール」が令和2年春から放送決定し、東京オリンピックムードもあり、エールを応援に置き換えて、豆を英語で「SOY」というので、応援風に「SOY! SOY! 福商豆カレー」を作りました。福島の豆や雑穀の健康食材を使い、美味しいヘルシーな、珍しい豆カレーを発案しました。「ごはんのカレー氏くん」というキャラクターも作りました。福島の美味しい食材を使い完成させた自信作です。

開発当初は、福島商業高校のロゴマーク「Fc」から、「Fcヘルシーカレー」を作ろうとしましたが、肉が無いとカレー風味の味ははっきりしないものとなり、美味しいものでないと売れる商品にはならないので、試食段階で、豆のおいしさを知り、ヘルシーさよりも、豆の美味しいカレーにすることにまとめ、4回の試食を重ね、パッケージデザインもこだわり、令和元年9月6日に商品は学校に納品。

県外で販売することも視野に、賞味期限が長く、季節に左右されず、気温の変化や保存方法に気遣いなく安心して販売することができる商品にしました。

他にはない差別化商品で、ぜひ一度お召し上がりください。

「おいしい、ヘルシー、スパイシー」なカロリー控えめな商品です。

1箱550円(税込)で販売いたします。

6. 販売形態・期間

①

福島駅や県内外イベント等でも販売実績があり、今後も生徒による販売を継続。
2500箱があり、令和元年9月～令和2年3月までで売り切る。

無

7. 協力者等

①

有限会社 井上商店(福島県二本松市)

無

8. 商標登録の有無

有

無

9. 今後の課題・展望等

賞味期限は製造から2年あり、季節に左右されず、気温の変化や保存方法に気遣いなく安心して販売することができるが、事業費補助により、年度内に売り切り、その売上を生徒の県外での旅費・交通費等で有効利用する必要がある。地域の期待は高く、出店無料で県内外のイベントで販売する機会があり、生徒の販売等のスキルアップと共に生かしていきたい。

県内外の高校等の注文もいただきたい。